



情熱のけやぐ〜青森〜

平成 22 年 11 月 12 日 (金)・13 日 (土)、地域づくり団体全国研修交流会青森大会が青森県で行われました。群馬県からは 15 人が参加し、皆さんがそれぞれに見聞を広め、充実した交流会となりました。



地域づくり団体全国協議会長挨拶 岡崎 昌之

「第28回地域づくり全国研修交流会」が始まりましたが、いかがでしょうか。いよいよ、これから15の分科会の会場へ移動していただきます。現地へ向かって、少し寒いなどお感じになるかも知れませんが、ホッカイロを十分にご用意しております。また、現地のほとんどで温泉が湧いております。青森県は日本でも有数の温泉地でもありますので、どうぞゆったりとお湯につかりながら、朝まで語り合っていたきたいと思えます。

また、現地で青森の風土に溶け込んで、負けずに諦めないで色々な厳しい条件と戦いながら、未来を切り開いている地域づくりの活動家と、深い交流を築いていただきたいと思います。そして、彼ら・彼女らのぬくもりのある心に是非触れていただきたいと思います。

皆様のリュックサックに、青森の思い出と太い友情の絆をたっぷり詰めてお持ち帰りくださいませ。どうぞ皆さん、青森でこうしてお目にかかったご縁をこの先もずっと育て参りましょう。

不行き届きの点が多々あるかと存じますが、この熱意と地域づくりを同じく志すもの同士、友情に免じましてお許しいただきたいと思います。次回青森県へお越しいただくときには、ご家族、恋人、ご友人と、大勢ご同行いただきたいと思います。

来年は熊本県で、本田実行委員長、その他大勢の皆様とお目にかかれることを楽しみにいたしております。本大会へのご参加、本当にありがとうございました。

青森県副知事挨拶 蝦名 武

青森は情熱の地です。ねぶた祭りが青森のひとつの象徴になっているのは十分にご承知だと思います。

昨年、商店街の婦人部の方が、なるほどということをおっしゃいました。青森には他とは違う4つの季節があるというのです。

冬は他より長くて厳しく、冬が明けると春ではなくて「ねぶた前」という季節になる。今年はどうな風にしようか、うきうきして過ごす季節です。そしてねぶた祭りの1ヶ月前くらいになると、必死に準備をします。次が「ねぶた中」という季節で、ねぶた祭りに全力で情熱を傾けます。その次は「ねぶた後」の季節で虚脱感の中、正常な社会生活に戻るためのリハビリの期間だということです。なるほど青森は日本のリオデジャネイロだったのかと。青森人のメンタリティーの一端に触れたような気がしました。

さて、今回の研修交流会では地元青森の方はねぶたと同様に情熱を注いで準備を進めてこられたと聞いております。それは前夜祭で十分にご理解いただけたと思います。参加されました皆様には、熱く語らい、広く向上し、心の底から楽しんでもらえるのが、尽力されてきました地元の皆様に応える姿勢だと考える次第です。私も八戸の分科会に参加し、大いに学び、楽しませていただきたいと思います。実行委員会の皆様を始め、青森県、市町村、NPO、その他、この準備を進めてきた皆様に対しまして心から敬意を示しますと共に、この研修交流会が成功に終わりますことをお祈りいたします。ありがとうございました。

熊本県からのお知らせ

私たちは次回の研修交流会を、平成 23 年 3 月 12 日の九州新幹線開業後の熊本で、ぜひ開催したいと手を挙げて参りました。熊本県には現在、300を超える地域づくり団体がありますが、ちょっと活動が鈍っていないか?という思いもあり、新幹線元年という言葉の中で、新たなセカンドステージのまちづくりをやりようと考えました。

今日は熊本で地域づくりを実践しているメンバーが、熱い思いを持って青森へやって参りました。生まれてきて良かった、ずっとこの地域のふるさとに住み続けたい。私たちはそんな思いで地域づくり活動に燃えているメンバーです。

地方は、高齢化・過疎化・少子化などマイナスイメージがありますが、今こそ地域の人間力、そして地域の持っているすべての地域資源を活かして、新たなまちづくりをやっていこう。そんな思いで、「火の国未来づくりネットワーク」という名称で新たな出発をいたしております。

今こそ民間の団体と行政とが一緒になって手を取り、熊本を全国に発信していきたいと思っています。そして私たちが、地方にいる人間として、何を役割としてまちづくりをやっていかなければならないのか。何を課題として、何を目指して地域づくり活動を今後やっていかなければならないのかを真剣に考えていく時だと思っております。

今日会場にお越しの全国の皆様、そういった想いをぜひ熊本でぶつけて、語り合ひましょう。来年5月の緑萌える熊本で、火の国の燃える心でお迎えいたします。熊本で、待っとるばい!

熊本で会いましょう!
待っとるばい!



次回の第 29 回地域づくり団体全国研修交流会は熊本で5月13～15日に開催されます。

青森検定

青森県の魅力を知ってもらうために、青森検定が行われました。ぜひみなさんも挑戦してみてください。

1. 青森県で第1回が開催されたB1グランプリ。第1回の参加団体は10団体でしたが、2011年には何団体が参加したでしょう?

- ① 36 団体 ② 46 団体 ③ 56 団体

2. 2010年のB1グランプリのチャンピオンは何だったでしょう?

- ① 甲府鳥もつ煮 ② 津山ホルモンうどん
③ あかし玉子焼

3. りんごの他に青森県の生産量が日本一のものは何でしょう?

- ① ごぼう ② にんじん ③ だいこん

4. 平成 20 年 3 月末時点で、青森県内に温泉地はいくつあるでしょう?

- ① 160ヶ所 ② 155ヶ所 ③ 145ヶ所

5. 東北新幹線全線開業により、東京～新青森間は何時間で結ばれるでしょう? (12/4 現在)

- ① 3 時間 10 分 ② 3 時間 20 分
③ 3 時間 30 分



6. 新幹線開業に伴い「青い森鉄道」は青森駅まで延伸されましたが、その営業距離は何kmになったでしょう?

- ① 約 120km ② 約 130km ③ 約 140km



どのくらい分かりましたか?
(正解は 12 ページにあります。)